

九頭竜湖で特定外来種コクチバスを92匹捕獲・駆除

～環境保全の取り組み 九頭竜ダムで外来魚を地元の団体と共同駆除～

九頭竜川ダム統合管理事務所

九頭竜ダムでは、平成19年に九頭竜川ダム統合管理事務所の調査により、九頭竜湖の右岸側を中心にコクチバスの生息・繁殖が確認され、その後、福井県が主体となり、毎年駆除を行っています。

今年も、産卵期間中である6月7・8日に、これまで産卵床や成魚が確認された地点を中心に駆除を実施しました。事務所からも職員5名が参加して、総勢延べ61名で行いました。今回、より効率的に駆除を行うためドローンによる産卵床の調査も同時に、実施しました。

概要

開催日時：平成29年6月7日(水)～8日(木)8:30～16:00

実施場所：福井県大野市長野（九頭竜ダム）

駆除方法：① 刺し網 ② 竿釣り ③ 産卵床の破壊

駆除の目的：九頭竜ダム湖内既存の魚類を守るため。

九頭竜川最上流部にあることから、下流への生息域の拡大を防ぐため。



駆除方法の説明



湖を泳ぐコクチバス



駆除状況



ダイバーによる産卵床の破壊



刺し網で捕獲したコクチバス

今回の活動では、新たに陸上からでは発見しにくい産卵床をドローンで空撮にて調査し、その結果を生かして駆除を行いました。

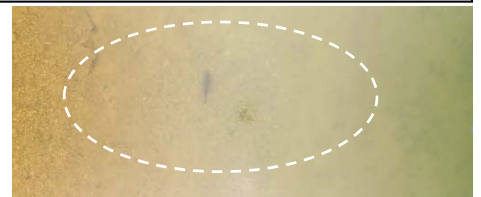
ドローンを活用することにより、短時間で広範囲にわたって調査を行うことができ、発見された産卵床は、ダイバーにより破壊しました。



ドローンでの撮影状況



撮影した画像の確認



ドローンで撮影した産卵床

【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局
九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 福井県大野市中野29-28

TEL (0779) 66-5300